

## 戦略Ⅱ

# 庁内全体の情報発信力の強化

取組① 各媒体のマニュアル作成

取組② 情報発信体制の構築

取組③ 各種研修の開催

今後のスケジュール

## 戦略Ⅱ 庁内全体の情報発信力の強化

## 取組① 各媒体のマニュアル作成

全庁職員共通のルールを作成し、円滑な媒体活用を目指します。最優先で、「パブリシティの考え方(プレスリリースの基本)」「SNS(Twitter・Facebook)の発信ルール」を作成します。

## パブリシティ【令和3年度4月～5月作成予定】

パブリシティとは、外部メディアを通じて行う情報発信です。長所は、メディアそれぞれの不特定多数の利用者に情報を届けられることです。市の媒体で情報を取得する人は限られています。メディアを通じて、より広範囲に情報を拡散することで、市の信頼度や魅力の向上につながります。

## ■プレスリリースの書き方(基礎)

記事の構成は「起承転結」ではなく、「**結起承転**」。結論から先に書くことで記者が一目見て何のプレスリリースか分かる構成を作する必要があります。  
※参考資料は28ページをご覧ください。

メディア	メディアのニーズ
新聞	生活者にとって意味・値打ちがある情報
雑誌	雑誌のテイストに合うもの
テレビ	画(映像)になるか
WEB媒体	話題になるネタ
業界紙	より専門的・技術的なもの。業界内でこういった意義があるか

## SNS(Twitter・Facebook)【令和3年度7月頃を予定】

SNSはそれぞれに特徴があり、ターゲットも異なります。

## ○Twitter

全国約4,500万人が利用。リアルタイム性と情報拡散力が強い

## ○Facebook

全国約2,600万人が利用。ブログに近いコンテンツの自由度がある

## ■SNSの投稿のコツ

どの媒体にも言えることですが、媒体によって文章量や見せ方などを変えていかないと、配信する意味がありません。特にSNSは、機械的に発信してしまうと見てもらえる可能性が大きく下がると言われています。



## その他の媒体(広報しおじり・映像・ホームページ)

その他の媒体については、リニューアル等に合わせ、現状のルールを見直した上で作成します。

戦略Ⅱ 庁内全体の情報発信力の強化

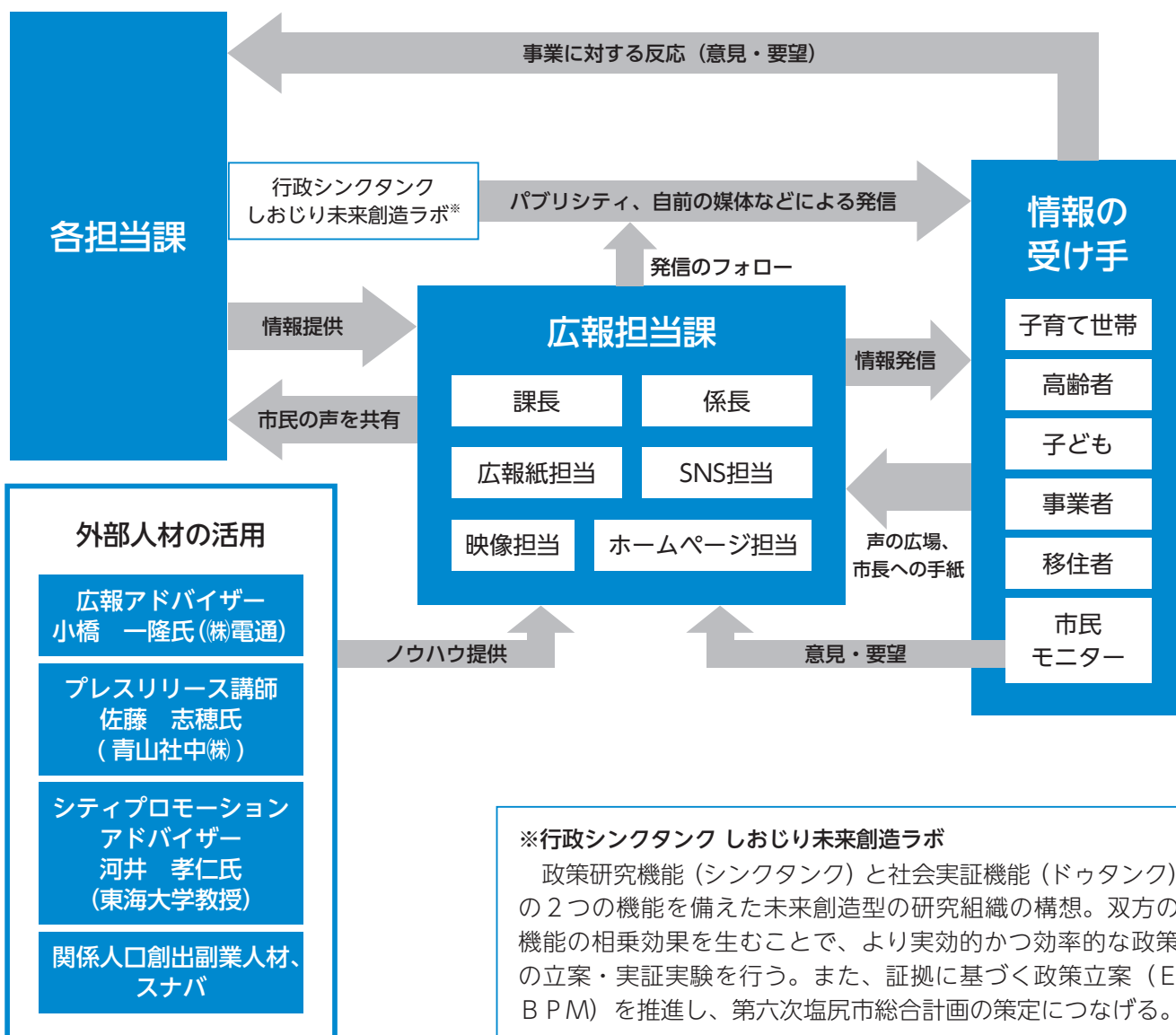
取組② 情報発信体制の構築

下の図は、情報を発信する際の庁内の体制イメージ図です。今回、この体制を改めて定義することで、役割が不明瞭だった点を明確にします。

情報発信は、広報担当課の媒体を介して発信する方法と、各担当課が直接発信する方法があります。その情報を取得した受け手（市民）が各担当課へ直接、又は声の広場・市長への手紙を通じて市民の声を伝え、それを基に新たな発信を行っていくという循環を生み出すことが必要です。

また、発信に対するアドバイザーとして外部人材の活用や市民モニターの活用も図り、より受け手に伝わる情報発信を目指します。

【図】 情報発信体制イメージ



## 戦略Ⅱ 庁内全体の情報発信力の強化

### 取組③ 各種研修の開催

市全体の情報発信をレベルアップさせるためには、職員一人ひとりが広報の重要性を深く認識し、広報に関する知識や技能を向上させることが不可欠です。

外部講師による広報関連の総合的・実践的な研修を実施することにより、職員の広報マインド及び技術を向上させ、市全体の広報活動のレベルアップを図ります。

#### 広報意識向上のための研修（全庁研修、年2回を想定）

職員の広報意識の向上、意識改革を目的とした職員研修を実施します。

##### ■研修内容（例）

- 年数回、広報戦略に沿った全庁研修（広報の方針、媒体の使い方を講習）
- 小橋一隆氏や佐藤志穂氏等の外部人材による広報の在り方の研修 など

#### パブリシティの基礎を学ぶ研修（令和3年7月ごろ、希望者）

「プレスリリースって誰に向けた資料？」「そもそもプレスリリースの語源って何？」「つくる目的は？」。この問いを探りながら、そもそもPRとは、プレスリリースとは、をお伝えすることで、職員の業務に役立つような新たな「ツール」の活用方法を学びます。プレスリリースはシティプロモーション担当のものだけでも、広報担当のものだけでもありません。この講座を通して職員一人ひとりの広報力向上を図ります。

##### ■検討している講座内容

- パブリシティの基礎知識。プレスリリースの目的
- プレスリリースの書き方
- プレスリリース添削講座

#### ホームページ研修（令和3年8月中旬を予定。各課2人ずつ参加）

現在、リニューアル中のホームページの研修。基本的な操作方法の他、誰でも見やすい、使いやすいホームページの基準となるウェブアクセシビリティについての講座も検討しています。ウェブアクセシビリティは、「高齢者や障害者を含め、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること」の基準で、この維持・向上に向けて、各担当課の意識向上が重要であると考えています。

### ■広報戦略3年間のスケジュール

	3年度		4年度		5年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
研修	広報戦略研修（半年に1回）					
	媒体に関する研修（ホームページ操作・パブリシティなど） 不定期開催					
マニュアル作成	パブリシティ	マニュアルを随時見直し				
	SNS					
リニューアル	広報しおじり		以後、使いやすいホームページの維持			
	ホームページ					
	市民モニター見直し		以後、新しい方法で市民の意見を収集			
目指す姿	広報担当課が支援しながら担当課にさまざまな媒体に触れてもらう		各担当課が、さまざまな媒体で発信を考える		各担当課が、ターゲットに合った発信方法を選択できる	

### ■令和3年度上半期スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研修		広報戦略研修		パブリシティ研修	ホームページ操作研修		広報戦略研修
マニュアル作成	パブリシティ		SNS				
リニューアル	広報しおじりリニューアル						
	ホームページリニューアル						
その他			情報発信計画シート提出（11月～4月分）				